

北留萌消防 幌延支署に新消防車配備 10,000リットル水槽、全自動LED照明装置搭載



小型動力ポンプ付水槽車の更新事業として新しい水槽車が2月17日、北留萌消防組合消防署幌延支署に配備され入魂式が執り行われました。

水槽車は、主に水の確保が難しい状況での火災現場で活躍します。小型動力ポンプと10,000リットルの水槽を積んでおり、震災など大規模災害時に有効な水源として活用できます。

今回の更新事業は、昭和61年製の消防自動車からの更新で、全自動LED照明装置を搭載しており、夜間の消防活動に十分対応できます。照明装置の動作（起立・上下・収納・旋回角度・点灯・消灯）は、すべて手元のリモコンで操作できます。

全国各所で発生する自然災害を目的に、それらの災害発生時に「**消火・救助活動など**」を「**安全・確実・迅速**」に行い、地域住民の生命と財産を守るため、消防車両や装備を計画的に更新し、消防力の充実強化に取り組んでまいります。今後も幌延町の消防力強化を図り、消防団と連携して町民の皆さんが安心して暮らせるよう努めていきます。

●仕様

- ・シングルキャブ型消防専用シャシ
- ・フルオートマチックトランスミッション
- ・定員3名
- ・小型動力ポンプ搭載（B-2級）
- ・最大積載量10,000リットル
- ・全自動LED照明装置

想定される河川氾濫 その対応は？ 町内会役員や消防、町職員が災害図上訓練に参加



幌延、問寒別両地区の地図を広げ、危険箇所や避難経路を書き込む参加者

町は市町村防災力強化出前研修として2月4日、一般財団法人消防防災科学センター職員を講師に招き、台風による河川の氾濫を想定した「災害図上訓練」を開催しました。

各町内会の役員や消防署員のほか、町長、副町長、町職員26名が参加しました。訓練では、まず過去に浸水被害があったり、土砂崩れが発生しそうな危険箇所を確認。町内を流れる河川が大雨で氾濫したと仮定し、安全に逃げられる避難経路を地図に書き込みました。その後、日ごろから家庭や地



域で準備できることや対策しておくことについて講師の指摘を交え、話し合いました。